



2024年10月17日着任

Pushpander Kumar Singh

光分子科学研究領域
光分子科学第二研究部門 特任研究員

I completed my doctoral studies under the supervision of Prof Vasant Natarajan, from IISc Bangalore India. Before joining IMS, I worked as a teacher and taught science and maths to young minds. I joined the Ohmori group as a postdoctoral fellow in October 2024. My work includes manipulation and investigation of the ultracold atoms in the quantum regime. With the guidance and the support of the people around me, I look forward to learning and contributing to science.

2024年11月1日着任

中井 愛里

なかい・あいり

生命・錯体分子科学研究領域
錯体触媒研究部門 技術支援員

2024年11月1日付で榎山研究室に技術支援員としてご採用いただきました、中井と申します。大学卒業後は化学メーカーで中空糸膜の中期開発やディスプレイ用UVハードコート剤の開発などの技術職に従事しておりました。子育てでキャリアが途絶えたため、化学分野に戻るのには実に約10年ぶりとなります。合成分野は未経験であり、毎日先生方に丁寧にご指導いただいております。いち早く戦力となれるよう、努力を重ねてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

アウトリーチ活動

分子科学研究所50周年特別企画

おかげさまで分子科学研究所は来年の4月に50周年を迎えます。

50周年特別企画として、ノーベル物理学賞受賞の天野浩教授と分子科学研究所の藤田誠卓越教授の特別対談を行いました。分子研公式YouTubeにて収録の様態を公開中です！長編ですが、YouTubeの概要欄に目次を記載いたしました。ご興味あるシーンをご覧ください。

是非、ご視聴ください！

分子研公式YouTube

https://www.youtube.com/watch?v=KxmH_isZ_m4

▶ 50周年記念企画 特別対談を公開中!



アウトリーチ活動

分子科学研究所 一般公開2024 開催報告

2024年10月19日（土）に分子研一般公開2024を開催しましたのでご報告致します。前回2021年の一般公開はコロナ禍の影響でオンライン開催であったため、2018年から6年ぶりの現地開催となりました。今回のテーマは、来たる2025年の分子研設立50周年も見据えて「分子一筋50年、極小世界が紡ぐ夢！」としました。また、2018年の一般公開では予想以上に多数の方々が来場されたため、今回は事前申し込み制とさせて頂き、1700名あまりの皆様にご来場頂きました。

今回の一般公開は、分子研の各施設やいくつかの研究グループの実験室の公開、体験イベント、市民公開講座、分子研クイズ王選手権等と盛り沢山の内容でした。また、岡崎高校スーパーサイエンスハイスクール（SSH）部の生徒の皆さんによる研究紹介とワークショップも行われました。具体的な内容をざっと列挙すると下記となります。

施設公開

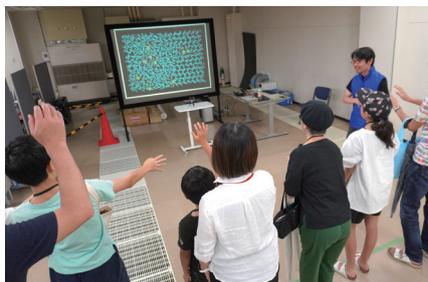
- ・極端紫外光研究施設（UVSOR）：シンクロトロン光を使って極小世界をのぞいてみよう！
- ・計算科学研究センター：最先端のスパコンを見てみよう
- ・装置開発室：「モノづくりと集中力」のフィールドへようこそ
- ・機器センター：氷点下の世界をのぞいてみよう！

実験室公開

- ・最先端のレーザー技術で解き明かす表面界面科学－宇宙の神秘の解明からエネルギー革命まで－
- ・原子のシートを剥がして見る

体験イベント（一部抜粋）

- ・最先端の電池に挑戦！
- ・タンパク質のはたらきを学ぼう！
- ・磁石の力で分子を見る
- ・“光の色”で分子を見る
- ・“糖鎖”って何？
- ・スライム作りで分子のつながりを体験しよう！



市民公開講座

渡辺芳人 所長「分子研の歩み」／魚住泰広 教授「持続可能な循環型分子合成への挑戦」

上記のイベントに加え、会場のところどころにポイントを設定したタッチラリーも用意しました。ポイントを全て回った方には抽選で、オカザえもん分子研がコラボしたオリジナルアクリルスタンド（アクスタ）、分子研ロゴ入りのペンやメモ帳などを贈呈しました。私の娘と妻も参加し、オカザえもんアクスタと分子研ペンをゲットし喜んでおりました。また、UVSORやスパコンを見学して感銘を受け、光を当てると色が変わる分子やスライムづくりの実体験がとても楽しかったとのことで（中学生の娘は「化学すげえな」と言っておりました）、一般公開の意義と重要性を実感致しました。

私自身は実行委員長として、当日は市民公開講座の司会を務めた以外は、ずっと本部に詰めて問い合わせ電話への対応をしておりました。一般公開のHPでは公共交通機関の利用をお願いしていたのですが、「車でいきたいのだが駐車場はあるのか？」という問い合わせを多数頂き、三河地方が車社会であることを再認識致しました。当日の各会場の賑わいを自分の目で確認できなかったのは少し残念でしたが、大きなトラブルなく無事に終えることができホッと致しました。事前の準備や当日の運営にご協力頂いた皆様、企画、運営に携って頂いた実行委員会メンバーの皆様にご心より感謝を申し上げます。

（飯野亮太 分子研一般公開2024 実行委員長 記）